

株式会社 群馬銀行

2025年3月期 第1四半期

スモールミーティング

2024年8月7日 専務取締役 内堀 剛夫



群馬銀行

(東証プライム : 8334)

～私たちは「つなぐ」力で地域の未来をつむぎます～

2022年 中期経営計画
Innovation for “Purpose”



第1四半期決算のポイント

コア業務純益は増加、与信費用も低位安定しており、順調なスタートとなった。

- 連結コア業務純益（投信解約損益除き）
 - ・ 貸出金利息や非金利業務利益の増加により前年同期比**13億円増加の134億円** 【進捗率：上期56.2%、年間26.9%】
- 資金利益（単体）
 - ・ 前年同期比**+5億円**（投信解約損益除き**+19億円**）
 - ・ 貸出金利息 **+24億円**（V+18、R+6）：国内利回りは反転 前年同期比**+2bpの0.92%**
 - ・ 有価証券利息配当金**+7億円**（投信解約損益除き **+22億円**）
 - ・ その他 **+5億円**（日銀預け金利息 **+4億円**）
 - ・ 資金調達費用 **+32億円**（V+21、R+11）
- 非金利業務利益（連結）
 - ・ 前年同期比**+2億円**（法人役務**+8億円**、預かり金融資産**+2億円**、団信配当**▲7億円**） 【進捗率：上期50.8%、年間25.6%】
 - ・ 法人役務は確度の高い案件を確保しており、上期目標達成を見込む。
- 経費・OHR
 - ・ 経費はほぼ計画どおり。連結OHRは前年同期比**1.2ポイント改善して50.6%**
- 有価証券
 - ・ 有価証券関係損益は前年同期比**+35億円**
 - ・ 国債等債券損益 **▲44億円**（国債**▲19億円**、外債**▲25億円**）
 - ・ 株式売却損益 **82億円**（純投資株式**+75億円**、政策投資株式**+7億円**）
- 与信費用
 - ・ 引続き低位安定的に推移 【進捗率：上期26.2%、年間14.0%】
- 親会社株主に帰属する四半期純利益
 - ・ 前年同期比**+21億円**の**111億円** 【進捗率：上期63.7%、年間31.8%】

損益状況

連結

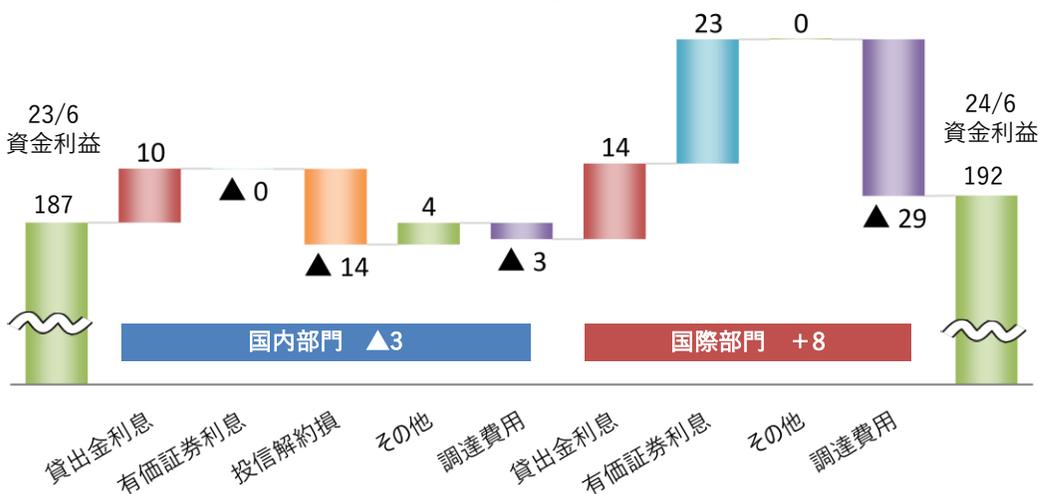
(単位:億円)	第1Q 24/6期			年間計画 25/3期
	前年 同期比	計画 進捗率		
コア業務粗利益	257	7	25.7%	1,000
資金利益	191	4	25.8%	740
投信解約損益	▲ 15	▲ 14	39.5%	▲ 40
投信解約損益除き資金利益	206	19	26.5%	780
非金利業務利益	66	2	25.6%	260
経費	138	8	25.6%	540
コア業務純益	119	▲ 0	25.8%	460
投信解約損益除き	134	13	26.9%	500
経常利益	160	34	31.1%	515
親会社株主に帰属する 四半期純利益	111	21	31.8%	350

単体

(単位:億円)	第1Q 24/6期			年間計画 25/3期
	前年 同期比	計画 進捗率		
コア業務粗利益	240	5	26.1%	919
資金利益	192	5	25.8%	744
うち貸出金利息	190	24	24.3%	780
うち有価証券利息配当金	116	7	27.8%	420
うち投信解約損益	▲ 15	▲ 14	39.5%	▲ 40
うち資金調達費用	122	32	25.2%	487
非金利業務利益	48	0	27.7%	175
役務取引等利益	40	▲ 1	26.2%	156
その他業務利益	7	1	40.2%	19
経費 (▲)	133	7	25.6%	519
コア業務純益	107	▲ 2	26.8%	400
投信解約損益除き	123	12	28.0%	440
有価証券関係損益	38	35	63.8%	60
与信費用 (▲)	4	2	14.0%	30
その他	7	5	30.2%	25
経常利益	149	36	32.8%	455
四半期純利益	103	22	33.4%	310

資金利益の分析 (単体)

(単位:億円)



単体貸出金利息 (前年同期比分析)

国内利回0.92%
(前年同期比+2bp)

(単位:億円)	国内部門	国際部門	計
残高要因	7	11	18
利鞘要因	3	3	6
合計	10	14	24

預貸金の状況

● 貸出シェアに見合った預金取引を推進。貸出金はクロスボーダー、ストラクチャード・ファイナンスが順調、利回りは上昇。

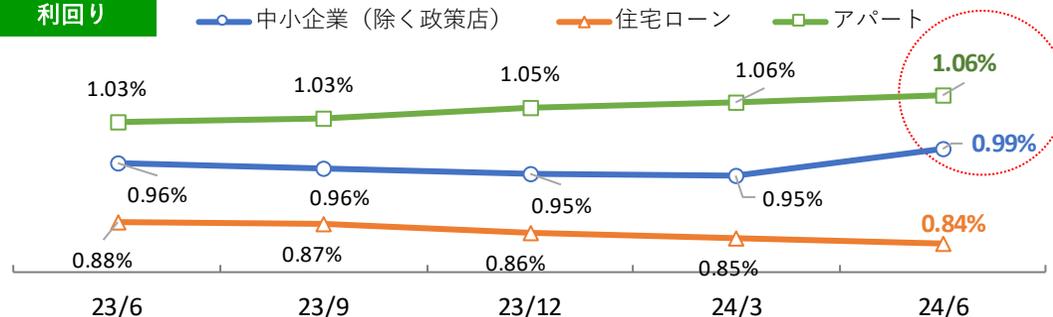
預金等の内訳

	24/6末		24/3末		23/6末	
	金額	増減率	比較	増減率	比較	増減率
預金等	86,648		1,425	1.7%	2,743	3.3%
預金	83,870		708	0.9%	2,363	2.9%
うち個人預金	57,860		533	0.9%	1,171	2.1%
うち法人預金	21,040		759	3.7%	1,139	5.7%
譲渡性預金	2,777		717	34.8%	379	15.8%

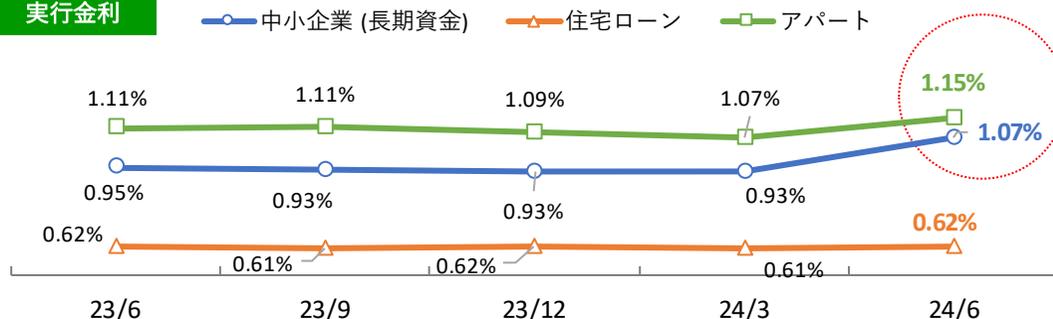
貸出金の内訳

	24/6末		24/3末		23/6末	
	金額	増減率	比較	増減率	比較	増減率
貸出金	65,035		356	0.6%	4,078	6.7%
リテール	48,269		24	0.1%	1,547	3.3%
中小企業	23,874	▲ 115	▲ 0.5%	946	4.1%	
個人	24,394	139	0.6%	601	2.5%	
うち住宅ローン	14,257	95	0.7%	387	2.8%	
うちアパートローン	6,803	30	0.5%	178	2.7%	
うち無担保ローン	736	23	3.3%	82	12.6%	
その他	14,576	211	1.5%	2,294	18.7%	
クロスボーダー	1,845	106	6.1%	461	33.3%	
ストラクチャード・ファイナンス	1,479	172	13.2%	664	81.6%	
国内大・中堅企業	9,701	▲ 2	▲ 0.0%	1,096	12.7%	
その他(*)	1,549	▲ 64	▲ 4.0%	71	4.9%	
海外店	1,146	109	10.6%	275	31.7%	
公共	1,043	11	1.1%	▲ 39	▲ 3.7%	

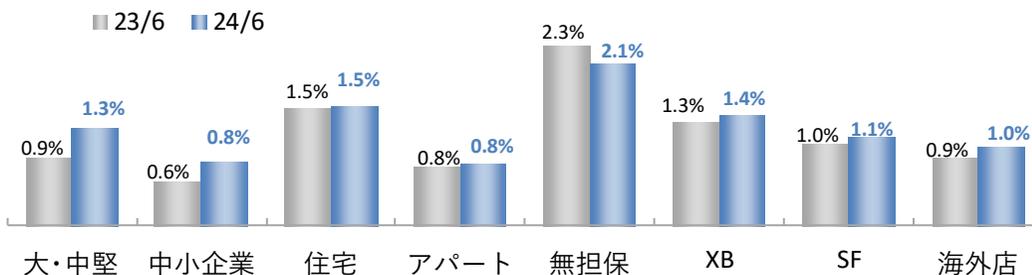
国内貸出金利



新規実行金利



貸出先RORA



※RORA = (資金利益+非金利業務利益-経費-信用コスト) × (1-30.5%) / リスクアセット

※ 地方公社、東京・大阪支店勘定はその他(*)に区分。

貸出金の状況

中小企業貸出

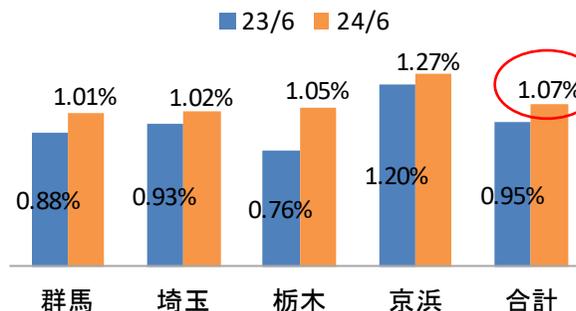
各地域とも新規実行額、新規実行金利、RORAの伸びは堅調。

地域別新規実行額（4月～6月）

(単位:億円)	24/6期		増加率	地域別特徴 貸出が伸びている主な業種
	24/6期	23/6期 比較		
合計	1,070	200	23.0%	設備資金、運転資金ともに増加
群馬	481	97	25.5%	食料品、卸小売
埼玉	230	34	17.7%	不動産業、サービス業
栃木	119	21	22.5%	製造業（金属、機械）、不動産業
京浜	239	46	23.8%	不動産業、サービス業

※長期資金

(新規実行金利)



地域別RORA

	24/6期	前年 同期比
中小企業	0.83%	0.22%
群馬	0.90%	0.28%
埼玉	0.64%	0.17%
栃木	0.74%	0.00%
京浜	0.92%	0.21%

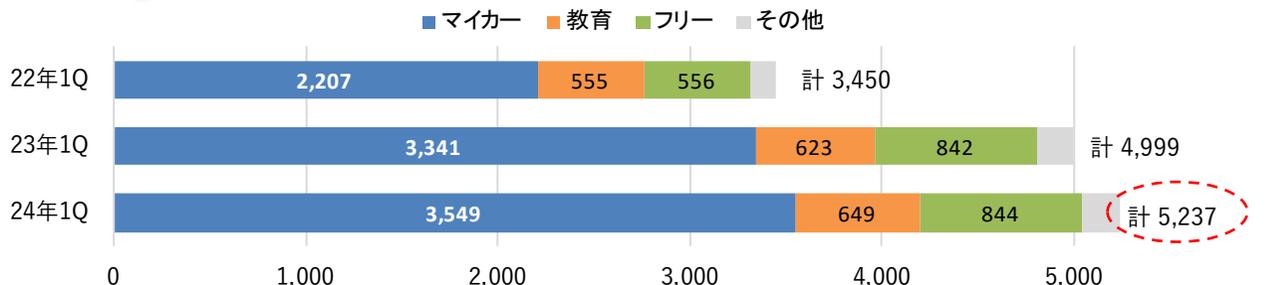
無担保ローン

無担保ローン残高・実行額とも順調に推移。中計目標（25/3期末）750億円に対し進捗率98%。
デジタルマーケティング基盤及びデジタル広告の活用により前年同期12.6%増加。

残高

(単位:億円)	24/6末		増加率
	24/6末	23/6末 比較	
合計	736	82	12.6%
証貸ローン	518	76	17.3%
うちマイカー	305	57	23.2%
うち教育	108	5	5.5%
カードローン	217	5	2.6%

新規実行額（4月～6月）



(単位:百万円)

※23年4月からインターネット広告運用をぐんぎんコンサルティングで内製化

デジタルマーケティング基盤活用が奏功

お客さまのライフイベントに応じて最適な商品・サービス等の情報を最適なタイミングでメール配信。

メール開封率は40～70%
(通常は10%～20%)

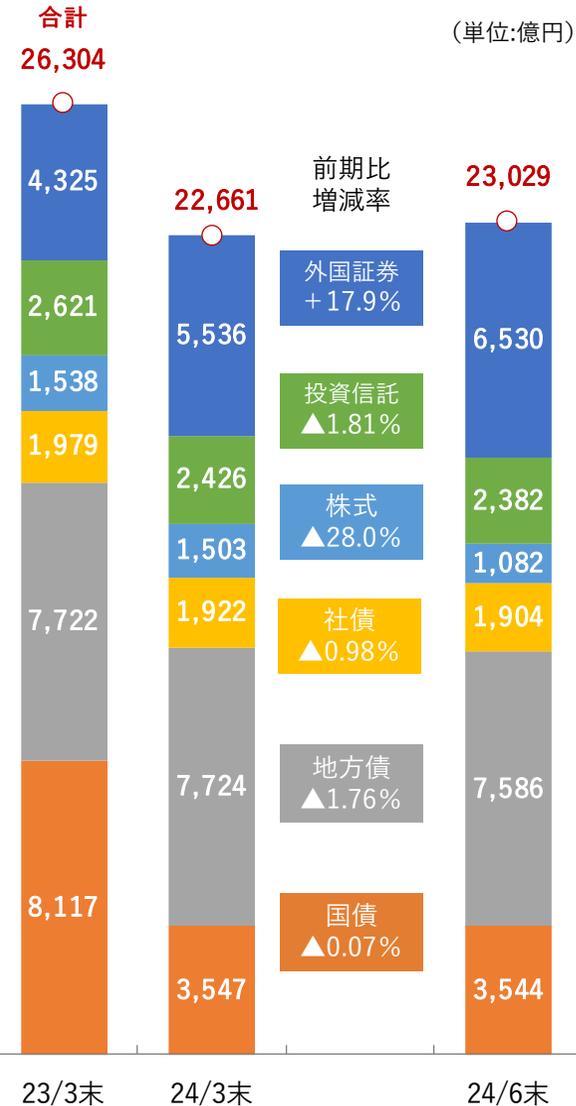
有価証券の状況

● 低利回りの国債の入替売買を実施。資金利益増強を目的として外債を新規購入。

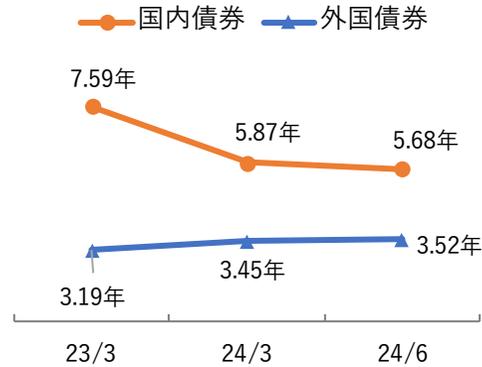
(単位:億円)

有価証券残高 (簿価ベース)

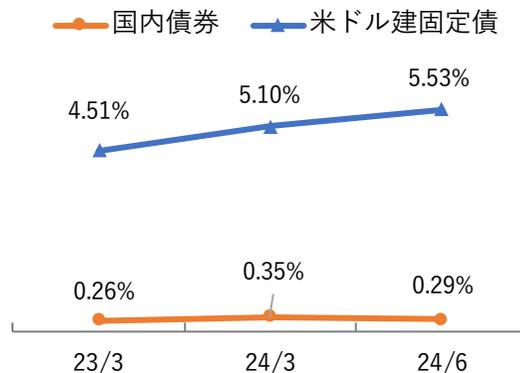
(単位:億円)



デュレーション



債券利回り



評価損益

	24/3期末	24/6期末	前期末比
その他有価証券	305	76	▲229
国内債券除き	589	506	▲83
外国証券	36	11	▲24
うち 米ドル固定債	▲52	▲54	▲1
投資信託他	▲206	▲191	14
株式	759	685	▲74
政策投資	711	687	▲24
純投資	47	▲2	▲49
国内債券	▲283	▲429	▲145
うち 国債	▲142	▲197	▲54

(単位:億円)

関係損益

	23/6期	24/6期	前年同期比
その他有価証券①	2	38	35
債券関係損益	▲97	▲44	52
うち 債券売却損 (▲)	106	44	▲61
うち 国債	106	19	▲86
うち 外国証券	-	25	25
株式等関係損益	99	82	▲17
株式等売却損益	99	82	▲16
政策投資	30	7	▲23
純投資	68	75	6
株式等償却 (▲)	-	0	0
投信解約損益 ②	▲1	▲15	▲14
合計 (①+②)	1	22	21

非金利業務利益・経費・与信費用

● 非金利業務利益は前年同期比2億円の66億円（進捗率50.7%）。OHRは改善継続。与信費用は低水準で推移。

連結非金利業務利益 (単位:億円)	24/6期	前年 同期比	上期計画 進捗率	上期計画
				24/9期
連結非金利業務利益	66.6	2.4	50.7%	131
法人役務収入	18.7	8.4	45.9%	40
うちシンジケートローン	2.7	0.8	40.3%	6
うちビジネスマッチング	1.4	0.2	32.6%	4
うちM&A	1.3	0.9	30.6%	4
うちぐんぎんコンサル	0.9	0.4	33.9%	2
うちデリバティブ	7.2	4.9	91.1%	8
預かり金融資産等収入	18.8	2.0	44.4%	42
うち投信取扱手数料	6.1	1.2	45.5%	13
うち保険販売手数料（個人）	5.6	▲ 0.7	38.2%	14
うちぐんぎん証券	6.4	1.7	52.8%	12
その他	29.1	▲ 8.1	60.3%	48
うち団信配当金	11.3	▲ 7.1	93.0%	12
うち基盤役務（※）	20.5	0.5	51.4%	39

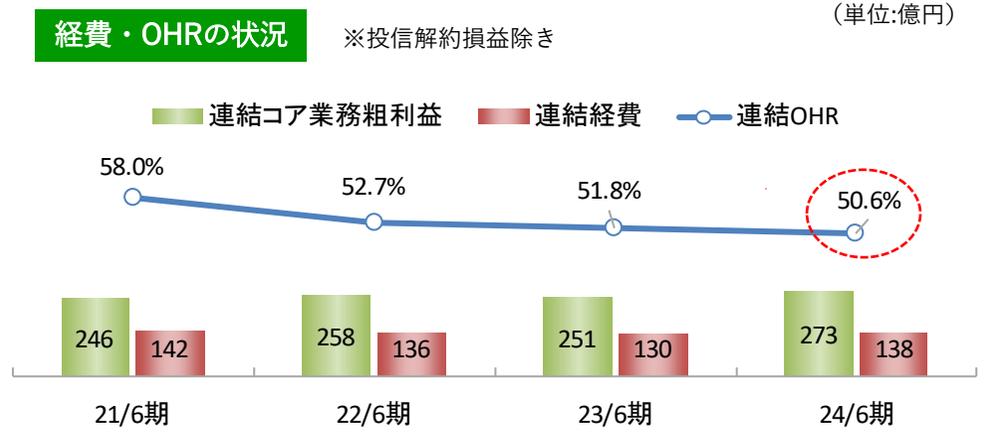
（※）内国為替、代理事務等

法人コンサルティング推進の取組み

- フルスペックアプローチの実践 ～「つなぐプロセス」～
- ⇒ ソリューション提案を累計**6,000先**に実施。把握したニーズ件数は**19,000件**。
ニーズ別では、事業承継関連、事業設備増強、SDGs関連、人材確保、業務効率化（DX・IT化）が大きな割合を占める。
- ⇒ 案件ステータス管理方法を明確化し、PDCAサイクルを回す仕組みの構築。

ぐんぎん証券の取組み

- 顧客セグメント策に沿った営業基盤の拡大
- ⇒ 一定の金融資産保有先の銀行からの送客、人員増員、営業拠点新設
営業店**16名**、本部**4名**増員。深谷駐在事務所の開設（8/26予定）



経費 (単体)	24/6期 (1Q)	前年 同期比	主な増減要因 (億円)
人件費	72	3	給料・手当0.9、賞与+2.1
物件費	52	3	機械賃借料+0.7、保守管理費+0.5
税金	7	0	消費税+0.1

与信費用 (単体) の内訳

	22/3期	23/3期	24/3期	24/6期 1Q
与信費用	73	10	6	4
一般貸倒引当金純繰入額	▲ 15	▲ 18	▲ 15	1
実積率変動	▲ 3	▲ 8	▲ 1	-
DCF	▲ 9	▲ 7	▲ 9	2
その他	▲ 2	▲ 3	▲ 5	▲ 1
不良債権処理額	89	29	21	3
ランクダウン	120	72	61	5
回収・ランクアップ等	▲ 38	▲ 45	▲ 42	▲ 2
その他	7	2	2	0
償却債権取立益 (▲)	0	0	0	0

パーパス実現に向けた「つなぐプロセス」の取組み

▶ 「つなぐプロセス」を活用したソリューション提案の実践（2022年10月～）

- 取引先（純預金先含む）とゴール・ニーズの共有からの確かなソリューションの提供に至るまでの一連の営業活動を「つなぐプロセス」として展開。グループ会社のリソースも活用しフルスペックで当行グループ全体での収益機会の拡大をめざす。

フルスペックのアプローチ 融資だけでなく前工程・後工程（全行程）にアプローチ ⇒ 収益機会拡大



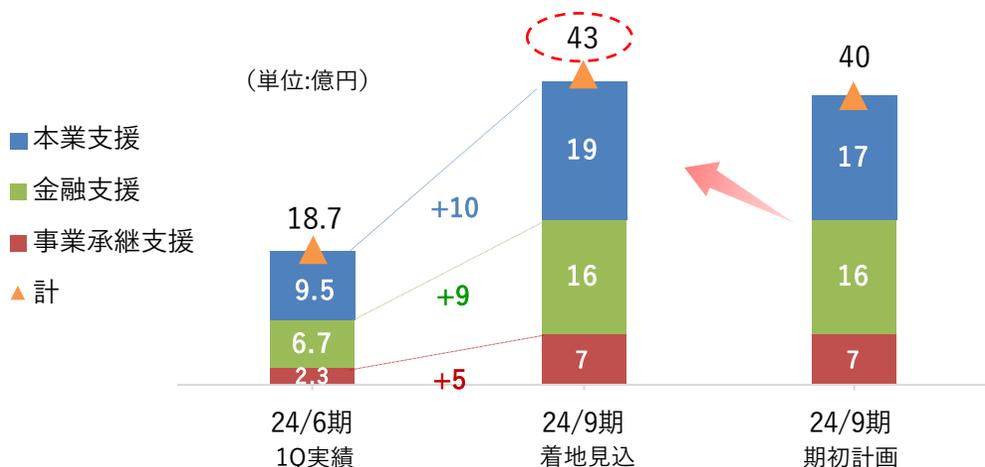
● フルスペックアプローチ事例（事業承継を切り口とした取組み）

- つなぐプロセスに基づき、今後の業界再編に不安を感じていたA社にM&A簡易株価評価を提案（ゴール・ニーズ把握、コンサルティング）
- 提案が起点となりM&A（同業のB社に株式譲渡）に進展、当行取引先でもあるB社に購入資金を融資（融資実行）⇒契約成立後、M&A成功報酬收受
- 譲渡代金入金後、PB班と連携し、海外不動産運用や外貨建保険提案（コンサルティング）⇒ビジネスマッチング手数料、保険販売手数料收受
- 相続対策としてアパート購入資金を融資（コンサルティング、融資実行）。さらに保有不動産の売却ニーズもキャッチ（ゴール・ニーズ把握）

法人役務の支援別状況 ⇒ 事業承継支援を始めとした法人役務収益は確度の高い案件（※）を確保しており、上期目標達成を見込む。

- 7月～9月の案件（6月末時点）を加味した上期の法人役務見込みは43億円と期初計画40億円を上回る見込み。

（※）顧客提案済みかつ予定月に成約の見込めるもの、顧客応諾済みのもの、行内手続き承認済みのもの



支援別区分	7月～9月 案件	内容
本業支援	900件程度 10億円	SDG s 取組支援、事業保険、補助金サポート、 ビジネスマッチング、金利・為替デリバティブ他
金融支援	700件程度 9億円	シ・ローン、ストラクチャー付きコベナンツ融資、私募債、 ビジネスマッチング、ぐんぎんSLL、販売用不動産融資他
事業承継支援	100件程度 5億円	ストラクチャー付きコベナンツ融資、事業保険、M&A、 ビジネスマッチング

※案件は6月末時点に基づいた確度の高いもの

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意下さい。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社群馬銀行 総合企画部（IR担当）

TEL：027-254-7051・7053

E-mail：gbir@gunmabank.co.jp